

神奈川県学童野球連盟平塚支部からのお願い事項

神奈川県学童野球連盟平塚支部
部長 鈴木一也

日頃は、審判活動にご協力、ご理解賜りまして有難うございます。

本年度より神奈川県学童野球連盟の役員も代わり、「公益財団法人 全日本軟式野球連盟」の規程・ルールに準ずることが多くなります。

そこで本年度から県大会で適用される「規程・ルール」を以下に記載します。

平塚市少年野球大会の試合においても、適用頂きますよう協議をお願い致します。

- 指名打者にあっては学童部（小学生）、少年部（中学生）、女子部は適用しない
- シートノックを行っている際にダートサークル内にいる選手はヘルメットを着用する。
シートノックに参加するボールボーイの選手は全員ヘルメットを着用する。
(ヘルメットが足りない場合にはシートノックに参加しない)
- 試合のイニングは6回（試合時間、コールドについては大会ごとに定める）
- 学童部の試合では、負傷治療に要した時間は試合時間に算入しない。
- 投手のサングラスの使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
- 野手がサングラスを庇の上に乗せることも認める。（指導者も同様とし、ミラーレンズも認める）
- 走者などが投手の球種（小学生は変化球禁止なので、インコースやアウトコースなど）を教えることは禁止する。
- 捕手はキャッチャースボックスなどに座った姿勢で球を受ける場合は、ヘルメット、マスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを必ず装着する。（控えの捕手が行う場合も同様とする）
捕手はファウルカップを必ず装着する。（試合前のメンバー交換時に必ず持参し審判員に確認してもらう。）
- イニング間のインターバルのとき守備側選手がベンチの前（ファウルライン付近）に整列し声出しをすることを禁止します。（出場中の選手および外野手などとキャッチボール要員以外はベンチを出るのは禁止、当然ですが、監督、コーチがベンチを出て指示を出すのも禁止です）
試合球を審判員に渡したり、外野手などとキャッチボールを行う選手もヘルメットを装着する。
- ネクストバッターサークルでの姿勢ですが、立っていても座っていても構わない。ただしバットの素振りは禁止なのでバットを腰の高さより上には持って行かない。
- フレアグリップは販売時に付いているものは認めるが、後付けでの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたただらかな形状の物であれば使用を認める。ただし改造バットと審判員が認めた場合は使用できない。（試合前の審判員の道具チェック時に決定する）

規制が多く申し訳ありませんが、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。